

解答例

問1 表1は「救急車の救急出動件数及び搬送人数の推移」である。

- 1) 令和元年に比べ令和4年の救急車の救急出動件数は何件増加しているかを求めなさい。

(589,805) 件

- 2) 令和4年の救急出動件数は平成23年と比べて約何%増加しているか、①～③の番号で答えなさい。なお、選択肢の値は小数第2位を四捨五入している。

- ① 8.9%
- ② 14.0%
- ③ 26.7%

番号 (③)

- 3) 表1のAの数値は各年の救急車の救急出動件数から搬送人数を差し引いた値である。Aに当てはまる言葉として最も適当なのはどれか、①～⑥の番号で答えなさい。

- ① 出動件数に占める搬送人数の割合
- ② 搬送人数に占める出動件数の割合
- ③ 搬送人数の増加率
- ④ 出動件数の増加率
- ⑤ 救急車の非搬送件数
- ⑥ 救急車の非出動件数

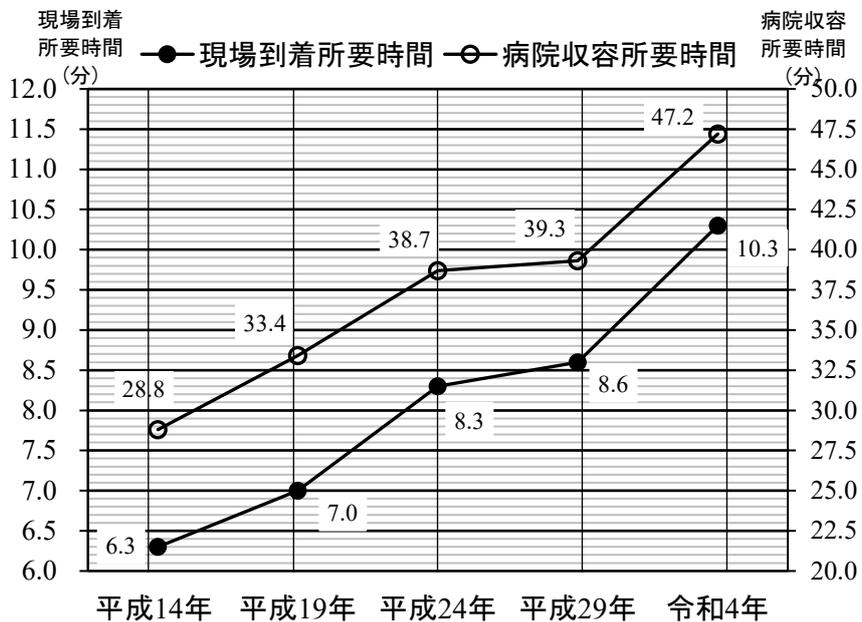
番号 (⑤)

問2 図1～3はそれぞれ「事故種別、年齢区分別、傷病程度別の救急車による搬送人数と5年ごとの構成割合の推移」である。次の①～⑤のうち、図1～3から読み取れるものを2つ答えなさい。

- ① 急病によって搬送された者の割合は20年間で減少傾向にある。
- ② 令和4年の交通事故による搬送人数の割合は20年前と比べて約3分の1である。
- ③ 搬送人数に占める高齢者の割合は20年間で減少傾向にある。
- ④ 令和4年の中等症の割合は20年前と比べて約2倍増加している。
- ⑤ 軽症の搬送人数は中等症より高い割合で20年間推移している。

番号 (②) と (⑤)

問3 表2は「救急車の現場到着所要時間および病院収容所要時間の推移」である。平成19年までの折れ線グラフを参考に、それ以降のグラフを完成させなさい。なお、病院収容所要時間とは入電から医師引継ぎまでに要した時間である。



問4 冒頭の問題文やこれまでの設問を踏まえ、救急車を真に必要とする人が利用できるためには、具体的にどのような取り組みが必要であるか。理由とともにあなたの考えを述べなさい。なお、解答は400字以内にまとめなさい。